

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 がじゅまる		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2026年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2026年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2026年2月28日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内に主治医・他職種がいるため、情報共有、相談、支援の方向性の確認や役割分担など、訪問支援員が連携しやすい環境にある 特に医師との連携が図りやすい点は、他の事業所と比較すると等事業所の強みである	適宜、主治医・他職種に情報共有、相談することが出来ている	事業所内で訪問支援員が定期的集まり、ケースを検討するなどの機会を頻回に作っていく 事業所内だけでなく、訪問先の関係者ともケースを検討するなどの機会を持つていく
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が少なく、訪問先が希望される日時に訪問できないこともあり、サービスが制限される	訪問支援員の人員補充と同時に、訪問実績を増やし経験を積むことが必要である	訪問支援員を増やせる体制を検討していく
2	医療機関ではベテランな訪問支援員も、保育所等訪問支援事業としては、訪問経験が少ないため、訪問先や保護者の希望される支援に応えられないこともある	2025年1月から訪問を開始したため、訪問実績が少ない	他の保育所等訪問支援事業所とも意見交換しながら進めていく 訪問事例を訪問支援員全体で共有し、訪問スキルを底上げしていく
3	保育所等訪問支援事業の認知度が低いため、広く対象保護者や訪問対象先に、サービスの内容を理解してもらうことが難しい場合がある	地域で就学児対象として保育所等訪問支援事業を実施している事業所が少ない	地域や行政にも協力して頂きながら、広報活動をやっていく 地道に活動実績を積み上げることで、周知を図る

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援 がじゅまる

利用児童数 24

回収数 13

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2			11		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	1	3	1		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11	2			訪問曜日が固定されると子供も安心する と思う	お子さんの様々な場面での姿をみさせて 頂きたく現状では曜日固定していない。 しかし、お子さんが安心して訪問を受け 入れてくださるような方法を検討してい く
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	8	1		4		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	10	1		2		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			5		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	11		1		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	12			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1	2	4	6		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1		

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11	2				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10			3		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13				訪問時の様子をショートメールで知らせ てくれるのは有り難い	今後も一人ひとりに合わせて、ご家族の 負担軽減をしつつ様子の共有しやすい方 法を一緒に考えていく
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	2	1	8		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			2		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10			3		
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13					
	28	事業所の支援に満足していますか。	11	1	1		保護者が希望する先生の関わり方を学校側へ伝え てほしい	お子さんにとってどのような関わりが良 いか、今後ご家族・訪問先と一緒に考 えていく

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

保育所等訪問支援 がじゅまる

利用児童数 19

令和8年 3月 17日

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	5		<p>学校にとって貴重な情報を提供して頂いているため助かっている</p> <p>開始時期、終了時期が明確でないため、支援開始の段階で書面を交わし、支援の計画や記録を残して欲しい</p> <p>生徒の様子や対応について、伝えるやり取りが多くなったように感じる</p> <p>訪問時に、その場で助言を頂いたり相談したりすることができ有り難かった</p> <p>何回か生徒の様子を見て頂いた後、ゆっくりと支援員の分析や支援方法をお聞きする機会があると、更に支援の参考にできたように思った</p> <p>支援員の説明は具体的で分かりやすい。個別対応している生徒への指導として5分ずつ数種類の個別課題をスケジュール化して示す方法を後押しして頂き、安心して継続できた。方向性が正しいと分かった</p> <p>主治医の見解、家庭の様子、保護者の考えを知ることが出来て助かっている</p>	訪問先の方々とゆっくり話をする時間を設定する等、共通認識が図れる時間が確保できるよう努める36
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	7		<p>専門的な見地からのご助言を頂き、今後の方針を検討する上で大変有効である</p> <p>対象生徒への支援方法は、学校の指導方針やその他の状況を確認してから進めて頂きたい</p> <p>アドバイス頂いたことは、すでに取り組んでいるものもあった</p> <p>支援員さんの訪問について、お互い共通理解がして、今後は計画的に活用できたら良いと思った</p>	今後も訪問開始前、訪問先の方々と丁寧に打合せをする

3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	7		<p>いつも適時・適切に回答して頂いている病院、学校、保護者の持つ情報の範囲を明確にしたい。また、学校での状況を定期的に報告しているので、受診の際の状況も可能な範囲で教えて頂きたい</p> <p>メール等で生徒の様子を共有できたり、保護者の思いを知ることができたのはありがたかった</p> <p>挨拶登校を続ける中で、個別課題を相談した際に「徐々に授業内容に近い課題を取り入れ、他の生徒と同じ活動ができる時間を作ると良い」と助言を受け、授業のスライドやプリントを活用するようにした。生徒は意欲的に取り組んでいる</p> <p>困り事等にいつもすばやく対応して頂き、とてもありがたい。学校からの疑問点について、受診の際に主治医に確認してくれてありがたい</p>	双方でご家族の承諾を頂いた上で、共有内容・方法など一緒に検討していく
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	4	2	<p>家庭と学校を上手に繋いで頂いており、とても助かっている</p> <p>生徒の様子も日々変わるため問題解消は意見を共有したが、難しかった</p> <p>こまめに訪問や助言を頂いたりして、学校も保護者も大変助かっている。ケース会を開いて頂いたことで具体的な支援にも繋がった</p> <p>家庭への支援（母の心的疲労の軽減）のために保護者に紹介させて頂いた。家庭、主治医、学校、福祉事業所、各々を繋げてくれて、家庭を丸く包み込む支援体制ができつつあると実感している</p>	今後も情報交換を行う、お子さんへの適切な支援を一緒に考えていく
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	7		<p>今後もぜひとも継続して関わって頂きたい</p> <p>制度やサービスについて知ることができて良かった</p> <p>生徒の状態や医師からの見立てをふまえ全体を通した助言を頂けることは非常に心強い</p> <p>学校からではなく、保護者の方が必要とされている支援であるため評価しにくい。</p>	今後もご家族・訪問先の方々に満足して頂けるよう努めていく

<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>	<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>
<p>病院やがじゅまると繋がっていることでとても安心できる 保護者の対応が難しい家庭の子供へのサポートを、情報共有しながら進めることができて最悪の事態にならずに済んだ 電話やメールで連絡をとることができて、緊急時に情報共有できることがありがたいと思った 助言や説明を付けるというよりは、対象生徒の様子を見て頂き、その様子を主治医に伝えても</p> <p>らっている。チェック項目に当てはまるような支援はあまりないかなと思う。こちらが情報を伝えているだけなのでフィードバックがあると良い 主治医と学校の橋渡しをして頂き、支援の在り方について適切な助言を頂き、助かっている 訪問の際に、授業での子供の様子を見て頂いた上でご助言を頂くと、より支援の仕方に生かすことが出来る 保護者の意見や困り事なども聞いたり、間に入って伝えて下さるので学校としてもありがたい 一年前から生徒支援のご協力頂き感謝している。担当者様には何度か来校していただき、観察、助言等を頂いた。生徒本人も担当者様には好感を抱いていたようで、色々なことを相談できた様子 学校側の目標地点と事業所・病院側との目標地点のずれから温度差があり、話を詰めていくことが難しかった部分があった。よい方向へ持っていきたい気持ちは同じだった ケース会議でなくても、支援員さんともう少し話せる時間がとれると良かったと思った。今後も情報交換をしていけたらと思う 保育所等訪問支援のありがたいところは、医療・福祉・家庭・学校を繋げて頂ける場所だと思ってる。学校は保護者の精神状態や障害の理解、学校との良好な関係性等を考慮して、学校での様子を赤裸々に伝えるのを控えたりタイミングを図ったりするときもある。伝えたとしても保護者が主治医にうまく伝えられないこともあるかと思う。そういった場合に、現場をしっかりと見て頂いた支援員が現状等について主治医に伝えて頂けることを期待する。学校でできる支援とはどんなことだろうか、職員で考えるきっかけとなった。 本人に来校する旨を伝えず、気づかれないようにすることは可能か？本人が知っていると思ってしまうように思う。より自然な姿を見て頂けると思う 一度だけの訪問だったが、子供は支援員に会えるのを楽しみにしていた。支援員はにこやかに話しかけてくださっていた。私の学校での子供の様子の話に熱心に耳を傾けてくれたが具体的に助言や説明は十分な時間が取れなかった。</p>	<p>訪問日時や方法など、ご家族・訪問先と相談して決める</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 がじゅまる				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		絵カード、コミュニケーションカードなど必要に応じて作成。実際使用し訪問先に提案することもある	今後も必要に応じて用意していく
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2	不足している 職員が少なく負担が大きい	無理なく行えるよう、職員体制や配置数を考慮していく
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	2	訪問に行った人のみで行っている 必要に応じて院内外の関係者に相談している	どのように計画的に実施していくか、今後検討していく
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			評価表のご意見に基づき、保護者の意向を把握していく
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	少ない職員で実施しており、他職員が業務状況を見る機会がない。また、意見交換をする状況が少ない	連携の取り方を検討していく
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1	実施していない	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		自分で研修等を見つけて、院内外研修に参加している	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		利用希望があったら、お子さんと保護者の思い等を聞く。保護者の承諾を得て訪問先から様子等を聞いて情報を整理している	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		利用希望があったら、お子さんと保護者の思い等を聞く。保護者の承諾を得て訪問先から様子等を聞いて情報を整理している	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	特性シート、氷山モデル、ABA等使用している	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		回覧で共有している	回覧以外でも職員間の情報共有に努めていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		多職種で訪問に行く際は実施している	今後も必要な場合は、専門職と連携していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		多職種で訪問に行く際は実施している 院内外関係者と必要に応じて共有している	今後も必要な場合は、専門職と連携していく
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		大事にしている考え方、使用しているツール等を聞き、訪問先と共有しやすい方法を心掛けている		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		訪問報告以外でも、保護者と連絡を取り合っている	今後も共通理解できるよう努めていきます
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時、重要事項説明書の内容について説明している	今後も丁寧な説明に心がける
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	1	訪問報告以外でも、保護者と連絡を取り合っている	今後も相談しやすい方法・関係作りに努めていきます
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		3	実施していない	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		対応の体制が整備できていない	今後、対応の体制整備を検討していく
訪問先施設への	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		3	実施していない	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		3	ご家族等に周知できていない 訓練は実施している	今後、契約時にご家族に説明する
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	2		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	ヒヤリハット事例はなかった	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	1		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		3		今後、契約時『身体拘束等の適正化のための指針』について説明する